

事務事業名 幼稚園臨時職員配置事業		所属部 子ども政策局	所属課 子ども政策課	
総合計画体系的	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 教育・保育グループ	課長名 狩野 明芳	
	施策名 (26) 子育て支援の充実	担当者名 錦織 研吾	電話番号 0854-40-1044 (内線) 3626	
	目的 対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 2 項 目 中事業 中事業 2 0 0 5 0 1	幼稚園総務管理事業	
	基本事業名 (078) 子育てと仕事の両立支援		幼稚園総務管理事業	
目的 対 保護者 意図 仕事と子育てを両立できる。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
1. 正規職員で不足する部分・病気休暇・日々代替について臨時職員を任用する。 2. 賃金を支払う ・幼稚園から送付された出役明細により支払事務を行う(月初め) ※木次幼稚園は自園で支払い事務を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) 幼稚園の臨時職員(講師、休暇代替等)の任用、賃金支払	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 幼稚園の臨時職員(講師、休暇代替等)の任用、賃金支払い			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 開設している幼稚園数	園	13	13	11	10
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	幼稚園の園児 教職員	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア 教職員数(支援員含まず)	人	42	41	40	40
			イ 園児数	人	347	316	283	252
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	幼稚園児の教育を向上し、生活するうえでの安全を確保する。 幼稚園の運営を充実する。	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア 臨時職員(講師)の配置数	人	10	12	8	11
			イ 臨時職員を配置した幼稚園数	園	9	9	8	8
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)		② コストの推移		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
臨時職員賃金	16,670千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	19,055	24,589	16,670	15,364
		事業費計(A)	千円	19,055	24,589	16,670	15,364	
人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	164	164	164		
		人件費計(B)	千円	643	638	638		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	19,698	25,227	17,308		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・町村合併 ・小規模園の増加 ・園の統廃合 ・認定こども園推進	特になし	・兼任園長園の早期解消 ・正規職員での補充

事務事業名	幼稚園臨時職員配置事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	-------------	-----	--------	-----	--------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	職員の資質向上を図ることにより、より充実した教育が実施できる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	幼稚園運営上、別手段はない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	できない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	必要最低限の事務である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		・臨時職員においてもクラス担当を受け持っている場合もあることから、クラス運営等について研修を重ね資質向上を図る必要がある。	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>・本来ならば正規職員での補充が望ましいが、財政上やむを得ない場合もある。その部分を引き続き臨時職員でカバーしなければならない。</p> <p>・適正規模適正配置基本計画により、規模の小さい幼稚園の統廃合が検討されている。これに伴う職員配置の変更も想定される。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		